



備中とと道トレイル再開発10周年

ようやく寒さが和らぎました。皆様いかがお過ごしでしょうか？ 2016年6月にとと道の再開発を始めて、早くも10年が過ぎました。この間に2020年には当協議会を設立、とと道の整備、ガイドブック、見聞録の発行、ウォーク大会の開催と様々な事業を展開、900名近い皆様にとと道を歩いていただきました。

そうした活動が認知され、2023年には国交省中国地方整備局が推進する「夢街道ルネサンス」、日本ユネスコ協会連盟の「未来遺産2023」にそれぞれ認定されました。そして、この2月には国土交通大臣から「手づくり郷土（ふるさと賞）」をいただきました。

とと道を森の中から掘り起こす内に、私たちはこの「ヒトが歩く道」を何とか未来へつないでゆきたいと思うようになり、その思いが様々な機関から共感を得ることになったものと思っております。

とと道再開発に当たったメンバーはこの思いを実現するには次の世代への確実なバトンタッチが必要と考えており、これからはそのために知恵を絞るつもりです。

手始めに、昨年春以来、とと道上の未開発部分の再々開発を実施、この3月のウォーク大会で初めてそのルートを皆さんと辿りました。

また、つい先日のことですが、倉敷ユネスコ協会が「令和8年度備中地域みらいづくり支援事業」として備中県民局に申請していた「備中とと道の可能性を探るアウトドア事業」計画が採択されました。この事業は今後3年ほどをかけて、とと道60kmを一気に踏破するトレイル+ピクニック（=トレピック）大会、さらにはトレイルランを実現しようという取り組みです。これまでの40回を超える大会はシニア層を中心としたウォークでしたが、今後はこれに次世代層も魅力を感じるメニューを追加してゆこうというものです。

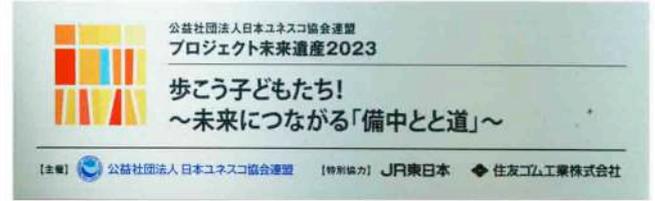
今年度後半にはトライアル大会が実施される予定ですのでご期待下さい。当協議会としては道の整備、ガイドに加え、トレニックでのエイドステーション対応を予定しております。ご興味ある方は是非とも当協議会に会員としてご参加下さい。

歩こう、愛そう、いつまでも 備中とと道トレイル60km！

備中とと道トレイル推進協会
会長 塩田宏之
令和8年（2026）3月



夢街道ルネサンス



日本ユネスコ協会連盟



国土交通大臣賞

